

解説

◇このワークシートのねらい

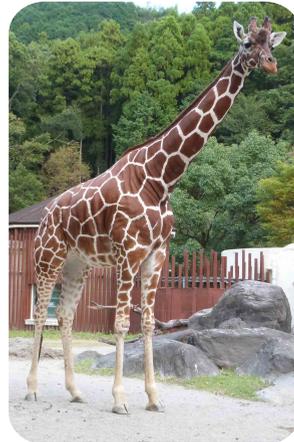
小さい頃から知っているキリンやシマウマですが、じっくりと観察することはあまりないのではないのでしょうか。細かいところにまで目をむけて観察する力をつけ、動物たちに興味をもってもらいたいと思います。

対象動物

グラントシマウマ
奇蹄目ウマ科



アミメキリン
偶蹄目キリン科



シマウマの模様をかいてみよう！

のいち動物公園で飼育しているのはタンザニア、ケニアなどのサバンナに分布しているサバンナシマウマの1種でグラントシマウマという種類です。名前のとおり、シマ模様が特徴の1つです。シマ模様は体部だけではなく、足や尾、たてがみまであります。このシマ模様は1頭1頭異なっており、模様を見比べることで個体識別をすることができます。

シマウマにはなぜシマ模様があるのか、ということがよく話題にあがります。群れで生活する動物のため集団でいると1頭に狙いをさだめにくくなる、虫をよせつけないようにするなどの様々な説があります。学校でもみんなで考えてみてください。

キリンは何をしているかな？

キリンの行動をじっくり観察してみましょう。

アミメキリンはケニア北部からエチオピア南部の草原地帯に分布しています。雄は成長すると背の高さは5mにもなります。

グラントシマウマは奇蹄目ウマ科ですが、アミメキリンは偶蹄目キリン科の動物です。蹄の数もシマウマは1つ、キリンは2つと違いますが、園内では距離があるためはっきりと見えないかもしれません。近くにきた時によく観察してみてください。

草食動物は肉食動物と比べ採食に時間をかけており、キリンはウシと同じく反芻をします。反芻をする動物は胃が4つあり、胃の中の微生物により草の繊維質を分解、口に戻して再度かみつぶし、最終的には第4胃で消化しています。口をモグモグと動かしていたり、首をよく見ていると食べたものを飲み込む、または戻しているのがわかる時があります。

その他にもいろいろな行動が観察できると思いますので、観察の時間を多めにとってあげてください。

またキリンもシマウマ同様に1頭1頭模様が異なります。展示場前にその日展示しているキリンの紹介パネルがありますので、キリンの個体識別にもチャレンジしてみてください。

キリンとシマウマのえさの食べ方を比べてみよう！

キリンは長い舌を木の葉にまきつけて、葉をからめ取って食べます。背が高いため地面においた餌は食べにくく、寝室でも高いところに餌を設置します。一方シマウマは口先を器用に動かし、短い草を歯でかみちぎります。

◇まとめ

動物をじっくり観察することで新たな発見があると思います。その発見が、動物に興味を持ち、正しく理解するきっかけになるとと思います。

このワークシートについてのご意見、ご感想がありましたら遠慮なく動物公園までお知らせください。またアンケートにもご協力をお願いします。

〒781-5233 高知県香南市野市町大谷738
高知県立のいち動物公園 ワークシート係
TEL 0887-56-3509 FAX0887-57-5251